

問題集『職種別過去問題集 労働基準監督官 2014 年編 (KU17716)』

「筆記試験の分析」について

問題集『職種別過去問題集 労働基準監督官 2014 年編 (KU17716)』の巻頭「筆記試験の分析」のページ (i ~ ii) に、誤って財務専門官の「筆記試験の分析」が掲載されておりました。

受験生の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたこと、心からお詫び申し上げます。

当PDF, 次頁より「労働基準監督官 (2014 年度) 筆記試験の分析」(全2ページ) を掲載いたします。

皆様にはご不便をおかけいたしますが、こちらをご利用ください。

平成 30 年 4 月 11 日

株式会社東京リーガルマインド

公務員課



KL17483

筆記試験の分析

1 試験の概要（労働基準監督官A（法文系））

(1) 実施日程（第1次試験まで）

受験案内公開日	2月3日（月）
申込受付期間	4月1日（火）～4月14日（月）
第1次試験日	6月8日（日）
第1次合格発表日	7月1日（火）

(2) 試験の内容（第1次試験）

種 目	筆記試験の内容	試験時間
基礎能力試験 (多肢選択式)	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験	40題必須解答 ^{※1} 2時間20分
専門試験 (多肢選択式)	筆記試験	48題中40題解答 ^{※2} 2時間20分
専門試験 (記述式)	筆記試験	2題中2題選択解答 ^{※3} 2時間

※1：知能分野27題〔文章理解11題、判断推理8題、数的推理5題、資料解釈3題〕、知識分野13題〔自然・人文・社会13題(時事を含む。)〕

※2：〔必須解答〕12題〔労働法7題、労働事情(就業構造、労働需給、労働時間・賃金、労使関係)5題〕〔選択解答〕次の36題から28題選択

〔憲法、行政法、民法、刑法⑩、経済学、労働経済・社会保障、社会学⑳〕

※3：労働法1題、労働事情(就業構造、労働需給、労働時間・賃金、労使関係)1題

(3) 合格者の決定方法（第1次試験）

基礎能力試験および専門試験（多肢選択式）の各素点^{※1}がいずれも基準点^{※2}以上である者につき、両試験種目の基準点^{※3}を合計した得点に基づいて合格者を決定（なお、専門試験（記述式）は、第1次試験合格者を対象に評定した上で、最終合格者決定に当たり、他の試験種目の成績と総合する）。

※1：それぞれの試験種目ごとの正答の合計数。

※2：各試験種目において、最低限必要な一定の素点。これに達しない試験種目が一つでも存在する者については、他の試験種目の成績にかかわらず不合格。平成26年度の第1次試験（多肢選択式）の基準点は、基礎能力試験が12点、専門試験が12点。

※3：次の方法で算出した得点。

$$\text{基準点} = 10 \times \text{当該試験種目の配点比率} \times \left(15 \times \frac{\text{受験者の素点} - \text{当該試験種目の平均点}}{\text{当該試験種目の標準偏差}} + 50 \right)$$

【各試験種目の配点比率】

試験種目	基礎能力試験	専門試験 (多肢選択式)	専門試験 (記述式)	人物試験	身体検査
配点比率	$\frac{2}{7}$	$\frac{3}{7}$	$\frac{2}{7}$	- ※4	- ※4

※4：人物試験および身体検査は合否の判定のみ。

(4) 実施状況（第1次試験まで）

採用予定人数 [※]	160名程度	受験率【B/A】	算出不可
申込者数【A】	3,984人	第1次合格者数	603人
受験者数【B】	非公開	倍率【B/C】	算出不可

《過去3年の試験実施状況との比較》

年度	採用予定人数 [※] (人)	申込者数(人) 【A】	受験者数(人) 【B】	第1次合格者数 【C】	倍率(倍) 【B/C】	【参考】 最終合格者数
26	160名程度	3,984	非公開	603	算出不可	298
25	105名程度	3,071	非公開	518	算出不可	259
24	36名	4,028	非公開	139	算出不可	70